

浸水の中の避難は危険（逃げどきマップの解説）

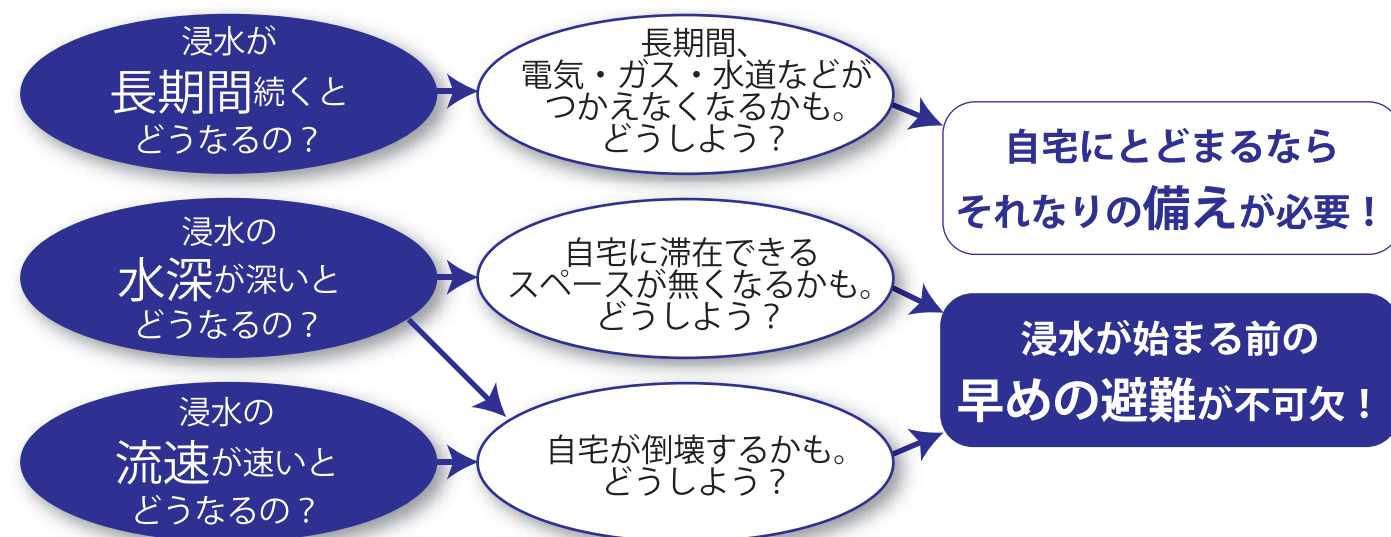
浸水の中を避難することはとても危険です

【浸水してからの自宅滞在が困難な住居】では「浸水前の早めの自宅外避難」が重要です。一方、【浸水してからも安全に自宅滞在が可能な住居】では「浸水してからの自宅外避難」はせずに「自宅に滞在」することが安全です。「住居の位置」や「住居の構造」や「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。逃げどきマップから該当箇所をたどると「あなたの家庭での行動指針」が示されますのでご参考ください。



逃げどきマップとは

逃げどきマップは、河川管理者から提供された資料を参考に、三条市が独自に作成したものです。信濃川、五十嵐川、刈谷田川のそれぞれの河川が決壊した場合の三条市内の各箇所における浸水の深さ・流速・浸水継続時間の計算結果をもとにして、三条市内の各箇所において、**どのような備えや行動を、どのようなタイミングで行っておくべきなのか**を示しています。



逃げどきマップの見かた

1. 検討したい河川の逃げどきマップを開きます。

三条市豪雨災害対応ガイドブックには、「信濃川が決壊したら」、「五十嵐川が決壊したら」、「刈谷田川が決壊したら」の3種類の逃げどきマップを収録しています。そして、3種類の逃げどきマップについて、洪水災害の危険性が高い地域を2地区に分割し、地図を掲載しています。あなたが住まいの地域を右のページで確認して、対象のページをご覧ください。その際、右のページは折り返さず、開いたままご覧ください。

2. お住まいの地域の逃げどきマップから、自宅の色を確認します。

検討したい河川が決壊した場合のマップをご覧になり、自宅の位置が、何色に塗られているかを確認してください。

3. 確認した色を書き込みます。

2. で確認した色を折り込みページの下の欄に書いておきましょう。

4. 『逃げどきマップの判定フロー』（折り込みページ）から行動指針を確認します。

注意事項をご覧いただいたのちに、「スタート」から矢印に沿って三つの質問に答えてください。

(1) 自宅の建物形態は、どちらですか？
「木造」or「鉄骨・鉄筋コンクリート造」

木造



or

鉄骨・鉄筋
コンクリート造



(2) 自宅の建物は何階建てですか？
または、何階にお住まいですか？



2階以上

1階

or



3階以上

2階

1階

(3) 自宅の位置はマップでは何色に塗られていますか？



&

ピンク	2階床上以上の浸水 (1階床上以上の浸水が24時間以上続く)
濃い黄色	1階床上～1階軒下程度の浸水 (1階床上以上の浸水が24時間以上続く)
薄い黄色	1階床上～1階軒下程度の浸水
青色	1階床下程度の浸水
赤色囲い	流速が速く、木造家屋が損壊する

(4) あなたの家庭での行動指針は？

あなたの家庭での「いざ」というときの行動指針にたどりつきます。【浸水前】と【浸水後】にどのような行動をとるべきかを検討するときの参考にしてください。

あなたのご家庭での行動指針

あなたのご家庭での行動指針	
浸水前	浸水後
○自宅外避難 ○自宅滞在	×自宅外避難 ○自宅滞在
浸水時の外出は危険です。日頃から十分な備えを！	

5. 判定結果から対応行動の注意点を把握します。

29ページに自宅外避難の心得を、また、31ページに自宅滞在中の心得を掲載しています。判定結果等を参考に検討した、あなたの対応行動についての注意点をチェックしてみましょう。

※ 右ページの折り込みを広げると「逃げどきマップ」の見かたについての説明が載っています。